

平成22年度

## 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473300810	事業の開始年月日	平成17年3月1日	
		指定年月日	平成17年3月1日	
法人名	医療法人社団 桜栄会			
事業所名	グループホーム 和楽の里			
所在地	( 226-0021 ) 横浜市緑区北八朔町1272-2			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
定員等	認知症対応型共同生活介護	宿泊定員	名	
		定員計	18	名
		ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	平成23年1月10日	評価結果 市町村受理日	平成23年5月12日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1473300810&amp;SCD=320">http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1473300810&amp;SCD=320</a>
----------	---

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

一年を通し、四季折々のイベントを企画して利用者様に楽しんで頂き、思い出の写真を飾り和やかな雰囲気づくりをしています。利用者の希望にそったオリジナルのメニューを作成し、手作りの食事を提供して家庭的な暮らしを心掛けています。利用者と一緒に洗濯干しや食事の下ごしらえ等をしながら、ゆったりした時間を過ごして頂けるように努力しています。

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-4 ヌグ双ファースト 3階		
訪問調査日	平成23年2月24日	評価機関 評価決定日	平成23年3月27日

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

ホームは田園都市線の青葉台駅より東急バスの「病院前」で下車して徒歩2分のところにあります。柿園や竹林の多い雑木林に囲まれ、近くには小さな公園が数ヶ所あり、自然が残された場所にあります。広い敷地に2ユニットですがグループホームには珍しく平屋建てで1ユニットのような使いやすいホームです。

## ホームの優れている点

ホームから数分のところに母体である桜栄会が運営する介護老人保健施設があり、入居者の相談や相互の待機者の対応、緊急時の車の手配などの援助がされています。数多いイベントにも招待され、入居者の楽しみになっています。

平屋建ての2ユニットですべての設備は独自になっていますが中間に広い玄関や事務所などで接続され利用者や職員は自由に行き来できます。事務所からは両方のロビーに目が届き、その両方のロビーから利用者と職員の楽しい会話が2倍となって聞こえ元気な憩いの場であることが感じられます。

## ホームが工夫されている点

1日1日を楽しく過ごすためにも毎月のイベントを大事にしています。年間の行事の予定をしっかり計画し、各月の誕生会・節分・ひな祭り・お花見・七夕会・花火大会・盆踊り・秋の遠足・クリスマス会など毎月盛り沢山のイベントが開催されています。利用者、家族の楽しみもありますが、イベントの中で利用者の気付きや家族の要望・意向などの把握の機会をとらえています。

玄関には職員の写真入りの名前を紹介し、家族から話しが聞きやすいと好評です。

## 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム 和楽の里
ユニット名	ひまわり

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	<b>理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に繋がっている	ホーム独自の理念を掲げ週1回、朝礼時に唱和して職員の意識の確認に努め実践しています。	法人の理念とは別に、職員一同で作成した理念とともに職員の利用者への支援の思いである10項目の倫理規定が玄関に掲示されています。そのことを実践として形に表すために毎週朝礼時に唱和しています。	
2	2	<b>事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ボランティアで地域の方が書道を教えてくださったり、地域の行事に積極的に参加させて頂いています。ホームの行事の際には地域の方々に声を掛けさせて頂き、交流させて頂いています。	近くの公園や隣接する畑道を散歩し近隣の方々とはすっかり顔馴染みとなっています。町内会の一員として盆踊り、幼稚園の運動会などに参加したり、ホームの七夕会などに家族とともに招待するなど交流しています。	
3		<b>事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議で入居者様の暮らしぶりや事故報告をすることで、地域の方々にも認知症について理解されてきています。	/	/
4	3	<b>運営推進会議を活かした取組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議ではホームでの取組み状況や改善課題を報告して、出席者の方々への協力のお願いや意見を頂きサービス向上に活かしています。	運営推進会議には地域の町内会の会長、副会長、子ども会の会長、老人会の役員、社会福祉協議会の保健活動推進委員や家族など地域の方々が参加しています。ホームの活動状況や参加者からの質問、さらに認知症や介護についての勉強会が開催されています。	
5	4	<b>市町村との連携</b> 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	必要に応じて市町村担当者と連絡を取っています。	生活保護利用者の受け入れ相談をはじめ、情報の交換やケアサービスの取組みなど常に連絡、相談しながら協働関係を築き、サービスの向上を図っています。緑区グループホーム連絡会に参加し成年後見制度をはじめ各種の研修会に出席しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全ての職員が身体拘束について理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。日中は入居者の安全に気をつけながら玄関の施錠はせず、自由に出入り出来るようにしています。	高齢者虐待防止の定義や身体拘束ゼロ宣言などとともにマニュアルなどにより、職員は正しく理解しています。玄関の施錠や居室からのベランダへの出入口の施錠は夜間以外は開錠しています。言葉による心理的虐待についてもいつも留意しています。	
7		<b>虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	入居者の尊厳、権利を尊重することを考え、虐待が見過ごされないように注意を払い防止に努めています。		
8		<b>権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を活用されている入居者様が増えてきており、理解して支援できるように学ぶ機会を設けています。		
9		<b>契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前にホーム内を見学して頂き、話を聞いて説明を行い理解、納得して頂いた上で手続きを進めています。		
10	6	<b>運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会で家族の意見や要望を聞き、外部の方へは運営推進会議で報告しています。皆様からの意見を職員に説明しています。	年4回開催される家族会、各月の誕生会やクリスマス会そして、普段の訪問時など聞きやすい雰囲気の中で各自の介護記録を閲覧しながら意見や要望を聞き、カンファレンスなどで検討し、その後のケアプランの更新に反映させています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的にミーティングの機会を設け、その中で職員の意見、提案を聞き運営に反映させています。	非常勤も含めた全体ミーティング、常勤者による定期的な各フロアミーティングなどにより意見や情報を把握しています。本部で作成した人事考課シートにより管理者が職員一人ひとりと面談し、目標や意向について話し合い、査定や運営に反映しています。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の勤務状況や、職員の成果を把握しながら、職場環境がより良い方向に向かうよう努めています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	交換研修や様々な研修への参加を促し、職員の業務に対する意識を高められるよう取り組んでいます。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は近隣のグループホーム連絡会に出席し情報交換を行っています。職員は他施設との交換研修に参加し学ぶことでサービスの質を向上に努めています。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	面談時に家族と本人から話を聞き、入居されてからも不安や要望等を傾聴し安心して過ごせるようにコミュニケーションを大切にして信頼関係を築いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約前にホームに見学に来られた際と契約時に話を聞いています。面会時にも様子を伝えながら要望を聞き、職員間でも把握できるようにノートを作っています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者と家族に話を聞き状況に応じた支援を見極めています。訪問マッサージや訪問歯科、口腔ケア指導を受け、他のサービス利用も出来る様に努めています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	負担にならない程度で出来る限り、掃除や洗濯干し、洗濯たたみ、洗い物を一緒にして頂き個々の能力を発揮できるよう支援しています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居時や面談時に話を聞き家族関係を理解するようにしています。生活の様子や本人の思いをご家族にお伝えして良い距離間を保てるように支援しています。ホームの行事では一緒に楽しんで頂いています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や関係のある方がいつでも来て頂けるような場所であるように心掛け、行事の際には多くの方に来て頂けるように支援しています。	入居時や入居後の面接記録をもとに本人や家族から生活習慣や普段通ったお店や友人などについて日常、把握するように努めています。馴染みのお店や商店街など週3回の食材の買物などの外出には地域との関係を継続できるように支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、座席の位置には配慮しています。孤立する利用者がないように職員が間に入り支援しています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても必要に応じて相談や情報提供に協力し、支援しています。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々、利用者一人一人とのコミュニケーションを大切にしどのような暮らしを望まれているのか把握し希望に添えるように努めています。	日常のリビングでの利用者とのおしゃべりを大切に希望や意向を把握するように努めています。毎日、スポーツ新聞を購読するのを楽しみにしていた利用者リビングで読めるように支援したりしています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族の方に今までの暮らし方や馴染みの物お聞きしたり、利用者様との日常会話から把握できるように努めています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員は利用者一人一人の一日の過ごし方を把握しています。表情の変化や行動の違いから心身状態を把握できるように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ケアカンファレンスを行い、本人と家族の要望を取り入れ、職員の意見を交換しながら介護支援専門員が介護計画を作成しています。</p>	<p>日々の支援を通じて利用者や家族の思いや要望を聞き取り、毎日時系列的に作成している介護記録をもとに主治医のアドバイスを含め、職員全員でカンファレンスを行ってケアプランを作成しています。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子、ケア内容や変化を介護記録やユニットノートに記載し情報を共有し、ケアの向上に活かしています。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>状況や必要に応じて病院受診の付添いや送迎をホーム側で行ったり、利用者様が希望する物を家族に代わって職員が買い物をすることもあります。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の方がボランティアで書道教室を行って下さったり、行事の際には地域の演歌歌手の方が来て下さり生活を楽しくして頂けるように支援しています。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>希望されるかかりつけ医に受診できるように支援しています。</p>	<p>本人、家族と話し合い、馴染みの掛りつけ医の受診を支援しています。協力医療機関は内科、歯科の週1回、精神科月2回で適切な医療が受けられます。急変時の通院の送迎、付添いや受診結果の報告等にも適切に対応しています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師との関わりはありませんが、日々のケアの中での変化を見逃さず、かかりつけ医に相談し適切な処置や対応が出来るように支援しています。		
32		<b>入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先と情報交換をし家族とも相談しながら、早期退院が出来るように支援しています。		
33	12	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者と家族の希望を確認した上で、かかりつけ医に相談して連携を図りながら、ホームとしての支援を見極めて取り組んでいます。	段階に応じて利用者、家族と話し合い、意向を確認し終末医療、延命に関する同意書を交わして、往診医を含めたミーティングで職員も情報を共有しています。過去数名の看取りが行われています。	
34		<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応マニュアルを作成し、ミーティングの際に説明し定期的確認、見直しをしています。消防署の方から急変時の対応方法を指導して頂き緊急時に備えています。		
35	13	<b>災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、消防訓練を実施しています。近隣の方々にも協力して頂けるように声を掛けさせて頂いています。	火災発生時の対応方法や地震発生時の対応方法などのマニュアルが用意され、消防署の指導により、夜間想定避難訓練を含め年2回行っています。職員は心肺蘇生法などの緊急救命法についてマスターしており、訓練時に確認しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人ひとりの尊厳や権利を尊重し、人格を認めた対応や言葉づかい、声掛けに取り組んでいます。	ミーティングの時、入居者に対する言葉づかいや態度に、自尊心を損なうようなことがないか、振り返りを行っています。また声をかける時は馴れ馴れしくならないよう丁寧にするように注意しています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で本人の希望や意思を尊重し、自己決定できるように支援しています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日をどのように過ごしたいのが希望を伺い、一人ひとりのペースに合わせて過ごして頂けるように支援しています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理美容を利用して希望に添った髪形にして頂いています。服装も本人の好みに合わせておしゃれを楽しんで頂けるように支援しています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	テーブル拭き、配膳、食事の号令や下ごしらえ等の個々が出来る事をして頂き、職員と一緒に食事を楽しんでいます。	食事の内容で気づいたことは「献立ノート」に記入し、ミーティングで検討しています。入居者が食事の準備や後片づけを手伝い、週3回の買い物に職員と同行し、食材選びに加っています。時々家族が来られ入居者の食事を支援して頂いています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<b>栄養摂取や水分確保の支援</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの好みを把握し、個々の状態に合わせた食事形態を提供しています。日中、水分量の少ない方は夜間帯に伝達し、必要量を摂取出来るように支援しています。		
42		<b>口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアの必要性を理解した上で毎食後に職員見守り又は介助にて行っています。月に4回、歯科衛生士から口腔ケア指導を受けています。		
43	16	<b>排泄の自立支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し必要に応じてトイレ誘導をしています。それにより排泄の失敗がないよう自立に向けた支援をしています。	排泄チェック表と身振りの様子から、トイレに誘導し、排泄の自立に向けた支援をして、おむつやリハビリパンツの安易な使用はできる限り控えています。便秘がちの人には食事に野菜や乳製品を多くし、またオリゴ糖などを加えて対応しています。	
44		<b>便秘の予防と対応</b> 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいます	毎日、体操したり散歩をするなどして体を動かす時間を作るようにしています。水分摂取にも気をつけ、食事のメニューの工夫や乳製品も取り入れています。		
45	17	<b>入浴を楽しむことができる支援</b> 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者の希望を確認して時間やタイミング、体調に配慮して入浴出来るように支援しています。	入浴は週2回を基本としていますが、体調や希望に即して対応しています。入浴時の見守りはプライバシーに気を配っています。また楽しい入浴にするため、温泉の素などの入浴剤の使用や柚子湯、菖蒲湯にして季節感を出しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<b>安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活習慣や、その時々状況に応じて、休息して頂いています。		
47		<b>服薬支援</b> 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書を個人ファイルにて管理し確認できるようにしています。理解した上で経過や変化を記録に残し情報を共有できるようにしています。		
48		<b>役割、楽しみごとの支援</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	買い物の同行や洗濯干し、洗濯たたみなど生活歴や力を活かした役割分担が出来ています。		
49	18	<b>日常的な外出支援</b> 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望にそって買い物の同行や近隣への散歩の支援に努めています。家族や地域の方々にも協力して頂き、ホームの行事や地域の行事に参加し普段は行けない場所へも出掛けられるよう支援しています。	ホーム周辺は緑に囲まれた自然の豊かな風景が残るところです。天気の良い日は、近くの公園や神社まで散歩をしています。また季節ごとにドライブで初詣、どんど焼き、お花見、チューリップ鑑賞、盆踊り、遠足などに行っています。	
50		<b>お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	訪問移動のパン屋が販売に来た際には本人に選んで頂き、おこづかいで買い物して頂いています。可能な方には支払いもお願いしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	相手の事も配慮した上で希望に応じられるように支援しています。		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	季節に合わせた飾り付けをし、利用者に季節感を感じて頂けるように工夫しています。温度調節にも気を付けています。	1階に2つのユニットのリビングが隣り合わせで在ります。行き来が自由にでき賑やかです。壁には月2回の書道教室の作品や誕生会の写真が貼られています。玄関には雛人形や季節の花が置かれ、また職員の写真が貼られ、訪れた家族に好評です。	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	利用者同士で談話したり、独りで過ごしたり出来るようにソファの配置を工夫し利用者様が落ち着ける空間づくりを心掛けています。		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	個人の馴染みのものを居室に置き居心地よく安心して過ごせるように工夫しています。	居室にはタンス、鏡台など馴染みのものを置き、花や、人形、ぬいぐるみ、家族の写真があります。仏壇を置いている人もいます。居室は掃除が行き届いていて清潔です。できる人は職員と一緒に掃除をします。窓から花壇や緑を満喫できます。	
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	建物内部には手すりを設置して身体能力を活かして生活できるようにし、整理整頓に心掛け危険のないスペースを提供し安心して生活が送れるよう支援しています。又、トイレや居室に目印や名前を貼り混乱なく生活できるように工夫しています。		

平成22年度

## 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473300810	事業の開始年月日	平成17年3月1日
		指定年月日	平成17年3月1日
法人名	医療法人社団桜栄会		
事業所名	グループホーム和楽の里		
所在地	( 226-0021 ) 横浜市緑区北八朔町1272-2		
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	平成23年1月10日	評価結果 市町村受理日	平成23年5月12日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1473300810&SCD=320>

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然に囲まれた平屋建てのホームでは、2つのユニットの利用者様同士の交流も自由にされ、のびのびと生活を楽しまれています。ホームで行うクリスマス会等の行事にはユニット合同で行い、ご家族や地域の方もご招待して盛大に行っております。職員の定着率も高くなり、利用者様とのコミュニケーションも深まってきています。一人一人にあったケアを大切に日々取り組んでいます。

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-4 ｸﾞﾞ ｽﾌﾞﾌﾞ 3階		
訪問調査日	平成23年2月24日	評価機関 評価決定日	平成23年3月27日

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

--

## 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム和楽の里
ユニット名	たんぼぼ

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>5ヶ条の理念を事務所に掲示し、毎週1回朝礼時に職員で唱和をして、日々の実践につなげています。</p>		
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>地域の行事には積極的に参加させて頂きながら、地域住民との交流に取り組んでいます。月に2回書道ボランティアさんの習字教室は入居者様にもとても喜ばれています。</p>		
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>定期的に運営推進会議を開催させて頂き、ホームでの支援の方法や考え方を地域の方に向けて報告させて頂いています。</p>		
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議にて、毎回地域の方からは率直な意見を頂きながら、サービス向上に活かしています。</p>		
5	4	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>入居相談等、役所の高齢支援課の方とは密に連絡を取りながら、協力関係を築いています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>夜間帯以外は玄関の施錠はせず、自由に出入りできる環境になっています。身体拘束については、全職員が把握しており、身体拘束のないケアを実践しています。</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止の定義を事務所に掲示し、定期的に唱和をする事で、ホーム内での虐待が見過ごされることのない様に努めています。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>成年後見制度についての研修会等に参加し、ホームで必要とする方に活用できるようにしています。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約前には必ず来所して頂き十分な説明を行い、理解を図っています。必要に応じて、体験入居サービスなども行い不安や疑問を解決させて頂いています。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族とは常に連絡を密にとりながら、不満や苦情を相談できる様に心がけています。その内容については職員が閲覧できるようにしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体ミーティングやユニット毎のカンファレンスにおいて、意見交換や提案事項を話し合いサービス質の向上に反映させている。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に一度の給料水準の見直しや、各職員の労働時間を考慮しながら働きやすい環境作りに努めている。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の力量に応じた、ステップアップする為の研修を受ける機会を適宜持てる様にしています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	定期的に行われているグループホーム連絡会には積極的に参加しながら、ネットワーク作りをしています。年に一度の交換研修にも毎年参加させて頂き、同業者と交流する機会を持てる様にしています。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービスを開始する時に、本人が不安な事、要望をお伺いして安心した生活が送れるように努めています。必要に応じてご家族からの聞き取りもさせて頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービスを開始する時に、ご家族とは密に連絡を取りながら要望等をお伺いして不安をなくし安心して入居されるように努めています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、ご家族との話し合いにおいて、何が必要かを見極めてできる限りの対応が出来る様に努めています。 必要に応じて訪問リハビリ等のサービスも取り入れています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の培った知恵を發揮しながら、日常生活が送れる様にし、日々の暮らしの中で活かしながら共に学んでいく関係作りに努めています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ホームでの行事の際には、なるべくご家族の方にも参加して頂き、ご家族との絆を大切にしています。 ご本人の状況は常にご家族にお伝えし、共に本人を支えていく関係を築いています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人が使用していた馴染みの家具等は、お持ち頂く様にしています。 友人や親類の方の面会も、気軽に来て頂ける様な雰囲気作りに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	リビングには利用者様同士が談話できるスペースを作っています。年間行事や日々のレクリエーションの中でも、共に参加しながら、関わり合いが持てる様にしています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も、ご家族に連絡を取り状況の把握をしながら、相談や支援に努めています。 ホームでの行事にも参加して頂いています。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中で、一人ひとりの思いや、ご希望を把握し尊重出来る様に努めています。必要に応じて、個別にお話を聞いたり、ご家族からの協力も得ながら対応させて頂いております。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居される前には、ご自宅や施設等に訪問させて頂いて、これまでの生活環境が維持出来る様に努めています。面談の内容は職員で共用出来る様にしています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日2回職員間での申送りを行い、入居者様の心身状態の把握に努めています。その日の状態によって日々の活動内容の変更をさせて頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	本人や家族との話し合いの中で得た情報を基に、定期的にカンファレンスを開催し、本人の希望がかなえられる生活の質の向上につなげられるよう介護計画書を作成しています。		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	個別記録やユニット毎にノートを作成し、職員間で情報を共有し、必要に応じてカンファレンスを行い日常のケアやケアプランの見直しにも活用しています。		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	本人や家族の状況を把握出来る様に密に連携を取りながら、その時々ニーズに、柔軟に対応出来る様に取り組んでいます。		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	ホームで行う書道教室の開催や、町内の行事へ積極的に参加する事で、地域社会の一員として楽しみながら暮らしていけるように支援しています。		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	受診の際には必ず、本人及びご家族のご希望をお伺いし、納得された医療を受けられるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	現在、訪問看護の配置はしていないが、必要に応じて適切な受診や看護を受けられるように支援しています。		
32		<b>入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際には、病院関係者とは連絡を密にとり、情報交換をしながら早期に退院出来る様に支援しています。		
33	12	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期のあり方については、家族等との話し合いを十分に行い、スタッフミーティングで方針を共有しています。		
34		<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急対応マニュアルの作成をして、急変や事故発生時にそなえています。応急手当の訓練も定期的に行い、実践を身に付けています。		
35	13	<b>災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力を得て、定期的な訓練を行っています。運営推進会議等でも地域の方へ協力をお願いしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日々の生活の中で、入居者様の悩み等に職員が耳を傾け、プライバシー傷つけることのないように心掛けています。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	月に2回のパン屋の訪問の際や、外食の際には好きな物を注文したりと本人の自己決定の支援に努め、楽しく過ごせるようにしています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴の際の声掛け等、日々の暮らし方は本人のペースを大切にしながら過ごして頂く様にしています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2ヵ月に一度の訪問理美容では、本人の希望される髪型にしてもらい、おしゃれを楽しんで頂いています。季節毎の衣替えは、ご家族の協力も得ながら本人の希望のおしゃれを支援しています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの好みをお伺いしながら献立の作成をしています。調理の準備、配膳手伝い、食材の買い物にも一緒に行って頂き、職員と一緒に楽しみながら行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>毎日、食事や水分量をチェック表に記録し職員間で共用しています。水分量は毎日17時に合計を出し申送りをしています。水分が不足している方にはゼリー等にて摂取して頂いています。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>月に4回の歯科衛生士さんによる口腔ケア指導を行いながら、一人一人の口腔状態に応じたケアを行っています。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>毎日、個別の排泄チェック表にて一人一人の排泄パターンを把握する事で排泄の自立に向けた支援を行っています。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいます</p>	<p>なるべく薬に頼らず、水分摂取量や食事のメニューを工夫しながら便秘予防に取り組んでいます。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しむように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>その日の利用者様の体調や気分等を考慮しながら、出来るだけ本人の希望に応じて入浴を楽しむように支援しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<b>安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	定期的なシーツ交換、布団干しをして、気持ち良く眠れるように環境整備に努めています。本人の体調に合わせて、休息や就寝して頂いています。		
47		<b>服薬支援</b> 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別のファイルにて服薬の用法や用量について理解出来るように努めています。		
48		<b>役割、楽しみごとの支援</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	掃除や新聞取り、洗濯干し等、一人一人が得意とする事や出来る事を手伝って頂きながら、役割をもって生活が出来るように支援しています。気分転換には、外出支援や、音楽鑑賞、テレビ観賞等個々に合わせて支援しています。		
49	18	<b>日常的な外出支援</b> 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	週3回のお買い物の際には一緒に同行して頂いています。普段行けない場所でも、ご家族の協力得ながら実践しています。		
50		<b>お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	月に2回の訪問パン屋さんや外出・外食時には本人がお金を持って使えるように支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の希望により、電話をかけたり手紙のやりとりができるように支援しています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関・リビング・廊下には利用者様の写真や作品を貼ったり、季節ごとに飾りを変えたりしています。室温や換気、テレビの音量には配慮しながらゆっくりとした空間作りをしています。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングには利用者様同士で談話が出来るスペースを作り、思い思いに過ごせる工夫をしています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時には、ご家族の協力を得ながらご本人の使い慣れたものを居室にご用意して落ち着いて過ごせる様な工夫をしています。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者様の居室やトイレには目印をつけて、自立した生活ができるように工夫をしています。		

## 目標達成計画

作成日：平成 23年 4月 22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	夜間想定消防訓練を行ったが、地域住民の方の参加が出来ていない。また非常時の物品の不足がある。	年2回の消防訓練には、地域住民の方への呼びかけを行い、参加して頂けるようにしていく。ホームにある非常時物品を再度確認し、不足している物を補充する。	運営推進会議を通して、ホームでの消防訓練を理解して頂き、まずは推進会議の委員の方へ参加を協力して頂ける様にしていく。非常時物品について、スタッフで話し合いを行い現状の把握と必要な物を確認していきたい。	12ヶ月
2	49	外出される入居者様が限られてしまい、日常的な外出支援があまり出来ていない。	車椅子や歩行器を利用している方も、希望された時には、外出支援が出来る様に努めていく。	ご家族とも連携をしながら、個々の方の希望に添って外出支援が出来る様にしていく。誕生日会や行事の時には入居者様からの要望を取り入れながら計画していく。	6ヶ月
3	26	本人や家族の要望を取り入れながら、介護計画を作成しているが見直しが不十分なことがある。	介護計画を見直す際には、居室担当者が中心となって意見を出しながら見直しをしていく。	居室担当者は普段から意識して担当の入居者様の状況把握に努めていく。月に一回、ご家族宛に状況の報告のお便りを出しながら、ご家族との関係も密接にしていく。	12ヵ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。